日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

病院長名	錦見 尚道
所在地	453-8511 名古屋市中村区道下町３丁目３５番地
交通案内	地下鉄東山線「中村日赤」駅下車 市バス・名鉄バス「中村保健センター南」下車

▣ 病院の特徴

当院は名古屋市北西部に位置し、一日平均外来患者数約 1,400 名、病床数（許可病床数）852 床、職員数 1,800 名と、この地域の基幹病院の一つです。救命救急センター、小児医療センター、総合周産期母子医療センター、造血細胞移植センター、緩和ケアセンター、化学療法センターを運営するとともに、神経疾患、循環器疾患、消化器疾患、呼吸器疾患などの診療でも専門科の壁を越えた医療を実践するシステムが整備されており、活力にあふれています。どの領域においても潤沢な症例数と多数の剖検症例を有しており、急性疾患から慢性疾患まで稀少疾患を含む豊富でバラエティーに富んだ症例を経験することが可能な病院です。専攻医が思い切り腕を振るうことができるアクティブな研修環境は当院の伝統です。

▣ 研修プログラムの特徴

産婦人科専門研修プログラム

当院の産婦人科は、これまで地域医療を守りながら多数の産婦人科医師を育んできました。産婦人科専門医を育成する当プログラムとしては、以下の特徴を持ちます。

・高度医療から地域医療まで幅広く研修を行える研修施設群。
・サブスペシャルティー領域までカバーする、豊富で質の高い指導医。
・質の高い臨床研究、学会発表、論文作成の指導。
・ワークライフバランスを重視し、出産後の時短勤務など労働環境を配慮。

研修期間は３年で、その間基幹施設である当院の他に２つの連携施設で研修します。そのうち１つは地域医療を経験できる連携施設で行う必要があります。当プログラムに属する連携施設は、いずれも豊富な症例数を有する地域の中核病院ですが、当院ではあまり経験できない症例も経験することができ、幅広い産婦人科の臨床を学ぶことができます。

当院の特徴は、周産期、腫瘍、生殖医療の３つの柱がしっかりと揃っていることにあります。周産期は総合周産期母子医療センターとして、20年以上にわたり愛知県の周産期医療の中心的役割を担ってきました。近年では麻酔科の協力も得て無痛分娩にも取り組んでいます。腫瘍も多数のがん症例の手術・化学療法などを行っており、専攻医においても治療に積極的に参加していただいています。最近では良性疾患も含め内視鏡（ロボット支援下含む）での手術も増えており、技術認定医を中心に若手の指導にあたっています。生殖医療では体外受精を中心とした不妊治療や生殖内分泌の学習が可能です。臨床遺伝診療科と協力の上で出生前診断や遺伝性腫瘍の診断なども行っており、最新のゲノム医療に触れることもできます。

さらに新生児科、病理部、放射線科など他科との合同カンファレンスや抄読会などで知識の拡大や診断技術の向上を図っています。こうした豊富な症例の経験をもとに学会発表や論文作成も積極的に行っており、産婦人科医としての基礎を築くのにふさわしいプログラムを用意しています。

▣ 主な連携施設

一般社団法人日本海員掖済会　名古屋掖済会病院、愛知県厚生農業協同組合連合会　豊田厚生病院、公立陶生病院、藤田医科大学ばんたね病院、小牧市民病院、地方独立行政法人知多半島総合医療機構　知多半島総合医療センター、医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院、静岡赤十字病院、伊勢赤十字病院

▣ メッセージ

プログラム統括責任者（第一産婦人科部長　安藤 智子）

当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、年間 250 件以上の母体搬送に対応し、産科救急対応を一通り学ぶことができます。年間 1,000 件前後の分娩があり、無痛分娩・多胎分娩・胎児治療なども経験できます。婦人科手術は年間 600 件ほどで、そのうち約半数を内視鏡（腹腔鏡、ロボット支援、子宮鏡）下に行っています。婦人科がんの手術は年間 170 件ほどです。経験豊富な指導医の元で、個人の経験と技量に合わせて執刀医・主治医を多く経験していただくことができます。生殖医療では、体外受精-胚移植を中心に、顕微授精、受精卵凍結保存などの他、がん治療を予定している若年患者の卵子・精子凍結保存などを行っています。当直は２名体制で若手と中堅以上の医師の組み合わせとしており、若手医師は困った時はいつでも上席医師に相談できるため、安心して当直できる環境にあります。チーム診療を重視しており、時間外診療は当直医に任せるとともに、当直明けは朝から休むことでオン・オフのはっきりした環境を実現しています。臨床の現場では若手が中心となって積極的に診療に取り組み、中堅以上の医師が若手を指導、サポートしていく体制が完成されています。忙しくも楽しく仕事をしている様子をぜひ一度見に来てください。

▣ 募集要項

・採用予定人数	４人
・給与／月額	３年次：487,370 円
・当直回数／月	4-5 回
・当直料／回	勤務体制に応じて支給
・その他	
・応募連絡先	担 当 者　教育研修管理課 電話番号　052-481-5111（内線 54145） E メール　kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp